



住吉台中学校区
学校支援地域本部だより

平成 26 年 12 月 9 日発行
NO.9



内藤以貫は江戸中期に活躍した儒学者です。伊達2代藩主忠宗、3代綱宗、4代綱村公に仕えました。書の達人でもあり、大崎八幡宮鳥居の碑文も内藤以貫の書です。隠居後住吉台に住居を構え、今はそのお墓が東5丁目にあります。平成17年に「内藤以貫の墓管理保存会」が発足され、県内外に約30名の会員がいます。

★ お墓清掃と供養祭 ★

10月26日(日)内藤以貫のお墓とその周辺の清掃整備、そして供養祭が行われました。当日は会員の方々、住吉台小学校畠山校長先生と小学校の先生方、そして中学生11名が参加しました。

中学生は、お墓までの参道のごみ拾いや落ち葉掃き、お墓に防草砂を撒いて水で固めるなどのお手伝いをしました。その後、お墓にお線香をあげてお参りもしました。

供養祭の後は東5丁目集会所で、会員の方が用意してくださった芋煮とカレーうどんをお腹いっぱいいただきました。



★ 内藤以貫について学ぼう ★

11月6日(木)小学校に「内藤以貫の墓管理保存会」の継枝喜美夫さんと酒井義夫さんをお招きして6年生の授業をしていただきました。

明治になって伊藤博文が、清国の政治家李鴻章(りこうしょう)から内藤以貫の書がほしいと言われたというエピソードや、画像が残されていない以貫の顔は、嵐の櫻井翔くんのような知的なイメージではないかというような楽しい想像も交えての授業でした。

先に紹介した中学生も、昨年はこの授業を受けました。6年生の感想文には将来保存会に入会したいと書いている子どももいて、地域の史跡を守るための貴重な授業となりました。



中学校

★めばえ寄席 「もみじ亭」★

11月17日(月)中学校で芸術鑑賞会「めばえ寄席」が行われました。小学校の振替休日ということもあり、小学生を含む60名近くの地域の方々が中学生とともに「もみじ亭」での寄席を楽しみました。上方落語と江戸落語、切り絵やコマ回し、そして中学生参加の大喜利。落語家や演者の巧みな語り口や聞き手を巻き込んだ進行に会場は笑いの渦に包まれました。世代を越えて伝統芸能にふれたひとときでした。





住吉台文化祭と地域の方の作品展示会



11月8・9日の2日間コミセンで行われた「住吉台文化祭」で、小学校3年生が総合学習の一環で「知らせよう地域の宝オオムラサキ」と題して、学んだことや調べたことを絵本や紙芝居にして展示しました。

来場された方は、手作り絵本や紙芝居を手に取り、模造紙や写真を熱心に見ていました。「オオムラサキ」について地域の方に知識を深めていただくことができたことでしょう。



また11月10日から17日まで「住吉台文化祭」に出品された地域の方々の作品を中学校で展示しました。

手の込んだ作品に中学生も興味津津でした。また作品の見学に地域の方々も中学校に足を運んでいただき、展示を通して学校と地域のふれあいの機会となりました。



小学校



★2年生 やきいも会★

11月27日(木)2年生が日頃からお世話になっている防犯ボランティアの方と笠松会の方を「やきいも会」にお招きしました。感謝の言葉とメダルの贈呈、歌とゲーム等、盛り沢山のプログラムのあと、2年生が収穫したさつまいもを焼き芋にさせていただきました。甘くて美味しい焼き芋と児童のおもてなしプログラムに「これからもがんばるぞ」とボランティアの皆さんの笑顔がこぼれました。



★3年生 校門のペンキ塗り★

11月下旬、3年生が南門のペンキ塗りを行いました。東5丁目町内会吉川会長と塗装業の大賀さんが公園の滑り台の塗装をされていた時に、3年生が「校門のペンキを塗りたい」と伝えたところ、お二人が協力を約束してくださり、授業カリキュラムとして取り入れペンキ塗りが実現しました。

児童は事前に錆落とし、錆止め加工された校門に、仕上げのペンキを塗り「ゲームより楽しい」と言いながら、真剣に刷毛を動かしていました。

南門はさわやかな水色の校門に生まれ変わりました。

